

# Viva Brasil★

平成23年度 ブラジル通信  
10月15日(土)~10月21日(金)  
No. 7  
発行者：宮本 朋子

## パラナヴァイ日本語学校訪問

パラナヴァイ市には、日本語学校が1校あります。現在JICAの先生を中心に3人の日系人の先生が働いています。そこで、日本語学校について話を聞いたり、授業を参観したりしてきました。

|          |   |
|----------|---|
| 学校の現状    | <ul style="list-style-type: none"> <li>パラナヴァイ日本文化体育協会（通称：文協）が学校を管理しており、校区市民館のようなところで学校を開いている。</li> <li>JICAの先生は現在の先生で4人目。</li> <li>JICAの先生が2年で帰ってしまうと、学校を続けていける先生がいなくなるため、毎回学校が閉まってしまう。</li> <li>1クラスを日本語能力試験に向けて学習する人と基礎学習の人に分けて指導している。</li> </ul>   |
| 時間 & 生徒数 | <p>《月曜～木曜》 合計24人（内ブラジル人4人）</p> <p>☑ 13:30～15:00 子ども10人</p> <p>☑ 19:30～21:00 子ども9人+大人5人</p> <p>※昼の授業は、1クラス4～6人。<br/>※夜の授業は、月曜と水曜が子どもクラスで、火曜と木曜が大人クラスとなっている。</p>  |
| 授業料      | <p>週2回の授業で月R\$35（約1750円）</p> <p>※文協の会員になっている人は、月R\$30（約1500円）</p>   |
| 良い点      | <ul style="list-style-type: none"> <li>安い授業料で日本語を勉強できる。</li> <li>日本語学校で勉強した夫婦が、6組日本へ行っている。</li> <li>日本から帰国した人が通ってくれているため、生徒同士が教え合いながら学習できる。</li> </ul>  |
| 問題点      | <ul style="list-style-type: none"> <li>授業料が先生の給料となるため、安すぎる。</li> <li>文協に日本語学校担当者がいないため、水道代や電気代等を払い忘れることがよくあり、日本語学校の運営にあまり積極的でない。</li> <li>現地の先生は事前の授業準備等をしないで授業を行うため、間違っただま教えてしまうことがある。また、すぐにポルトガル語で指示や説明をしてしまう。</li> <li>州の日本語学校の会議にJICAの先生しか参加していない。</li> <li>日本語学校があることを、市民にあまり知られていない。</li> </ul> |



現在、日本語学校の運営をJICAの先生がほとんど行っています。そのため、その先生が帰国すると、後を引き継ぐ人がいないのが現状です。また、日系人の先生は、日本語で会話はできて、正しい日本語を教える指導力がないのも事実です。今後も学校を継続していくためには、日本語教育に対して勉強熱心な先生や学校のまとめ役となる校長先生などの人材が必要となってきます。日本語に関心をもっているブラジル人が多くいるので、もっと広報活動をしていくべきだと思います。

# Objetivo 私立学校訪問

豊橋のブラジル人学校を訪問した時、Objetivo という教科書を使用して授業が行われていました。その教科書と同じ名前の学校がパラナヴァイ市にあるということで、訪問してきました。

この学校は、高校1年～3年まである1日制の学校で、生徒が312人（内日系人37人）、先生が28人います。クラスは全部で5クラスあり、1年生が60人×2クラス、2年生が49人×2クラス、3年生は94人の1クラスと大きく、教室も大学の講義室のようなところでした。午前は7:15～12:00で学習中心、午後は13:30～16:50で学習+補習となっており、大学進学率70%と勉強にとっても力を入れている学校です。そのため、図書室や実験室などの設備も充実しており、授業料もほかの私立学校と比べて高いです。また、夜は、大学進学のための勉強をする塾のような教室を開いており、別途料金がかかるそうですが、高校3年生以上の生徒が50人ほど勉強しています。

ここで、日本から帰国した生徒がいるということで、話をさせていただきました。

一人目は、高校3年生（18歳）のリカさん。小学校2年～中学校3年までの8年間岐阜県に住み、日本の学校に通っていました。親の仕事の都合で帰国したそうですが、今でも日本に帰りたいといっています。帰国した時は州の学校に通っていたそうで、学年も1つ下のクラスに入っていました。最初は、学習用語のポルトガル語がわからない、教室で音楽を聞いている生徒がいても先生は注意しない、うるさくて勉強できない、など戸惑うことが多かったそうです。そこで、落ち着いて学習できる今の学校へ転校しました。現在は、大学進学に向けて猛勉強中で、できれば通訳になりたいという夢をもっています。ただ、ブラジルでは、英語やスペイン語の通訳の方が必要とされているようです。彼女の話す日本語は、ブラジルで私が出会った日系人の中で一番きれいでしたので、ぜひ夢を実現してほしいと思いました。

二人目は、高校1年生（15歳）のネットくん。2歳～13歳まで富山県で過ごし、母親がブラジルに帰国する時に、姉と一緒に帰ってきたそうです。今は、父親ともう一人の姉が日本に住んでおり、家族が別々に暮らしているのでさみしいそうです。ただ彼には、ブラジルの大学に進学したいという目標があるので、それに向けてがんばってほしいです。

三人目は、大学進学のために勉強している22歳のホデリコくん。3回ほど日本とブラジルを行き来しており、豊橋に住んでいました。小学校の約4年間は日本の学校に通っていたそうですが、2回目に日本に行ったとき、ブラジル人学校（EAS）が開校されていたので、そちらに通うようになったそうです。ブラジルに帰国してからは、1年間で高校3年間分勉強できるという学校に通い、卒業しました。日本語はほとんど話せませんでしたが、豊橋の友達を懐かしがっていました。

15分間という限られた時間での面談でしたので、少ししか話はできませんでしたが、3人とも日本が大好きで、それぞれの目標に向かって努力していることがよくわかりました。今回の面談を通して、やはり彼らは現地の同年代の日系人と立ち振る舞いや考え方が違うなと感じました。それは、少年時代を日本で過ごしてきたことが大きく影響していると思います。ブラジルに住む日系人の若い人たちは、もうほとんど日本語が話せません。日本語を話せるお年寄りの人たちは、年々少なくなっています。だからこそ、彼らのような日本での生活経験のある子どもたちが、ブラジルの地でもっと活躍していくことを願わずにはられません。



# Jogos infantis de Paranavaí開催

10月20日(木)～27日(木)までの6日間、パラナヴァイ市の初等学校体育大会が開催されます。体育大会といっても競技は、陸上競技のほかケイマ(日本でいうドッジボール)、綱引き、チェスなどもある大会で、各学校の代表児童が競い合います。1年生～5年生まで学年ごと競技があり、今年から私立学校も参加して行われています。



20日と21日は、陸上競技が行われ、60m走、400m走、走り幅跳び、ボール投げの4種目がありました。学校によって取り組みに温度差があり、お揃いのユニフォームのある学校、裸足で走る学校など、様々でした。練習を全くしていない学校もあり、ルールのわからない児童もいて驚きました。また、60m走では、予選12組の各1位の子が準決勝にすすみ、準決勝では上位3名が決勝へ。そして休む暇もなく決勝を行うという流れでしたので、体力のある児童が勝ち上がっていました。そして1つの種目が終わると、すぐ表彰式。競技場全体へのアナウンスもないため、どこで何をしているのかわからないという感じでした。



また、20日の午前からすでに大会はスタートしていましたが、初日の夜に開会式が行われました。ブラジル人は、夜にみんなが集まってパーティをするのが好きなので、ブラジルらしいと思いました。オリンピックの開会式のように、まず各校が学校紹介をされながら、校長先生や体育の先生とともに代表児童が入場。そして市長、教育局長の話があり、選手宣誓。力を合わせてがんばろう!と、お互い抱き合いました。その後、各団体によるダンス発表が行われ、終了。とても華やかでした。

## アンジェラ先生の学校訪問

昨年度豊橋で研修を受けたアンジェラ先生の学校でダンスの発表が行われるということで、行ってきました。ブラジル風にアレンジしたダンスを豊橋とんとん唄に合わせて踊り、とてもかわいかったです。学校の行事としてこれからも続けていってほしいと伝えました。



## ぷらっとブラジルク・イ・ス!

先日1本40センターポ(約20円)のアイスを食べました。いろいろな種類の味があり、とても迷いましたが、とうもろこし味とチーズ味を選び、パクリ。なんとチーズアイスの中にグアバのジャムが入っていました。どうしてなのかお店の人に聞くと、「000だから」と、シェークスピアの本の題名を言われました。それは何でしょう?

- ①ロミオとジュリエット
- ②ハムレット
- ③ジュリアス・シーザー



答え: ① (ブラジルでは、相性がよいもののことを『ロミオとジュリエット』といいます。特に、グアバと砂糖で煮詰めたゴイアバーダとチーズの組み合わせのことをそう呼び、レストランのメニューでもよく見られますよ。)